

一月二七日、朝四時弥栄を卒業して松江に向う。今日は島根大学でわか弥栄之郷共同体の大デモンストレーションへようするに共同体のオリエンテーションとキヤンパの説明会を用くのだ。ヒキマで積った雪をかきわけてようやくのところが始発のバスに向に合う。そのバスかまた大変、雪の重さで道端の木か倒れたりでノロノロ運転。赤田まで一時間半のところ三時間もかかってとうとう予定の電車に乗り遅れる。松江についたのが一三時で、駅からタクシーをとほして大学へ。なんとみぎりぎり集合に向に合う。

**共同体を創るのか目的ではない
その共同体を用いてこの社会を
いかに創り変えるかが問題なのだ**

共同体志願者らを用いて約二時間ばかり話をし、それから自由に討論をしました。参加者の多くは「共同体」というものを今の社会からまったくかけはなれたものとして受け取っているようです。すなわち、ほくたちを取り巻いてい

る社会状況とその構造を「共同体」という容器を利用してすることによって、創りかえていくかという受けとめ方がされてい

大学の正面にすむワテカンが作ってあったので、相当集るのではと少々恐しくなりましたが、結局は参加者は12名程。それも、参加者内都ではほとんど顔見知りだとうです。

その結果、共同体はよう解らんといふ言葉が吐かれていた。という言葉か吐かれていた。というふうなことで、討論ももう一つ盛り上りが見られなかった。

(秋岡 吟)

人たちに集ってもらって、その結果、「情宜しは大学内ということに限定し、街には出ませんでした。ビラの枚数は学内向けとしては十分でした。ステッカーも手分けして張りました。また、ワテカンは

現在の、島根大は、管理強化が文部省の先取りという形ですすめられており、集会を持つには入届し

か、すると「顧問は誰だ」ときた。まあまあ幼稚園児じやあるまいし、それにステッカーも、へんな所すなわら良く自立つ所に貼ったものは即日失くなってしまった。これは学内を「必要以上」にウロウロしている用務員のしわざだと思

口に出すのを恥しいのですか、島根大学では現在学内にポスター等を貼る場合、学生課の印かいることに原則となつてい

さて集会の方は、高校生三人が参加したほかはほとんど新顔が現われず、少々かかりしました。討論の方も共同体云々までいかな

二おれにしろ「自然保護研究会」というサークルがあるのですか、その連中か四・五名いるので、これからは何かある時は、彼らと一緒に動いていこうと思

(橋本英俊)

抗議する

このかきり切つてい

**コミュニティの会
開かれる**

去る一月一三、一四、一五の三日間にわたつて神奈川県の厚木振出塾で「コミュニティの会」が開かれた。これはキヌツツ協会の呼びかけで数度開かれたことのある「共同体懇話会」の新編共同体版といえるものか？ 振出塾、もぐら、穂生、以心伝心、生活共同協会、日本塾、FEWC関東、集団わ、山岸会神戸案内場、SCC、夜迷亭など約二〇のグループから十の人が集った。集会はず本の共同体における男女。②共同体の開放性とは。③共同体における人間のつながり。④共同体の日常性。⑤変革の方法と目的。⑥共同体運動と政治などの分科会に分れて討論をした。二二に集ったグループを大別すると(Ⅰ)坂文化派(Ⅱ)土方コミュニティ派(Ⅲ)ワーク・キヤンパ派(Ⅳ)自然保護研究会派(Ⅴ)わか弥栄之郷共同体派(Ⅵ)その他